

あおぞら

病院ボランティアの紹介

アロマセラピーを取り入れて

公立岩瀬病院
看護部長 加藤 悅子



病院フェスティバルでのアロマセラピストによるハンドマッサージ



病院ボランティアの方々との打ち合わせ会

公立岩瀬病院では平成11年より、看護部が中心となって病院ボランティアの受け入れをしてきました。現在では「木洩れ陽の会」と称して活動を進めています。今まで案内ボランティア、お話ボランティア、移動図書ボランティアなどの活動をしてきましたが、今年度から外来待合室に『ホッと一息コーナー』を設けて、ボランティアの方々の手作り作品を展示し、アロマの香りの中で患者さんやご家族のお話を聴く活動を始めました。現在は週2回の開催ですが、そこでいろいろなお話ができるることを楽しみにされている患者さんが増えつつあります。また外来化学療法治療室ではアロマセラピストのボランティアさんが入り、医師からの依頼票に基づいて看護師と共にアロマトリートメントを実施しています。病院ボランティアの方々は当院の力強い応援団であり、無くてはならない存在です。これからも地域の人達と共に歩む病院として、ボランティアの方々と職員が心と力を合わせて活動を進めて行きたいと考えています。

◆◆◆事務局より◆◆◆

今年度から新たに設けられた学生会員に入会された国際メディカルテクノロジー専門学校の皆様が“うねめ祭り”に福島県看護連盟のハッピを着て、踊ってくださいました。

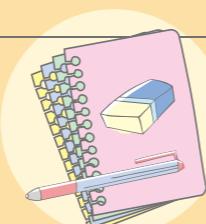


編集後記

通常総会、ホップも終了し、いよいよステップ活動開始です。たかがい恵美子さんを一人一人に紹介し、共に歩みながら看護の底力を發揮する時です。必ず花開くことを念じつつ皆さんで頑張りましょう。

広報委員メンバー

幸公治京ひす
部井田内木谷
服薄武大鈴深
長事員員員員
副幹委委委委



みんなで声を合わせて「ガンバロー！」

目次

contents

- 会長あいさつ P2
 - 新支部長紹介 P3
 - 平成21年度 福島県看護連盟通常総会報告 P4～P5
 - 第22回 参議院議員選挙候補予定者 P6
 - ホップ開催報告「たかがい恵美子と未来を創る会」 P7
 - 会員の窓あおぞら ●事務局より ●編集後記 P8



会長あいさつ

福島県看護連盟会長 笹原和子



平成21年度福島県看護連盟通常総会にはお忙しい中多くの方々のご参加をいただき、ありがとうございました。おかげさまで今年度の活動方針、活動計画すべてに承認をいただきました。総会終了後にはたかがい恵美子さんの「決起大会」を盛大に実施いたしました。石田幹事長より次回の参議院議員選挙候補予定者としてたかがい恵美子さんの紹介があり、政策理念や人柄について知ることができました。看護職能団体として気持ちをひとつにして応援していきたいと思います。

総会後の活動と致しまして、たかがい恵美子候補予定者の全国遊説が始まりました。

遊説の実施方法はホップ・ステップ・ジャンプと3段階に分けて行われます。

ホップは6月～7月の間に各都道府県を1回訪問します。目的は、組織的役割を持っている方々にたかがい恵美子さんを知りたいことです。たかがい恵美子さんの看護に対する熱い思いを知ってそれを伝え裾野を広げていくことです。

福島県は7月24日(金)に郡山市でホップを開催しました。

午前は各施設のリーダーの方々に出席をいただきました。現場をよく把握し着実に成果を上げてきたたかがい恵美子さんのお話にご出席の方々は感銘を受けたことだと思います。このような方を私達の組織代表として国政に送ることで、看護界の未来の灯りが強く燃え上がることを確信いたします。

午後は青年部委員主催によるホップが開催され、各施設より青年部連絡員が多数出席しました。青年部委員は看護と政治の重要性を十分に理解し、自分たち若手ががんばらなくてはと前向きに活動しております。出席者もたかがい恵美子さんのお話を直接聞き、その考え方や実行力に非常に魅力を感じたようです。「病院に帰ったたらたかがい恵美子さんを仲間に伝えなくては」という言葉も聞かれ、大変うれしく思いました。

次は支部を中心開催するステップがあり、最後にジャンプが22年度に予定されています。

最終目標はたかがい恵美子候補予定者の勝利を獲得することです。看護職能団体として、「一人がひとりを獲得する」活動を合言葉にスタートいたしましょう。私達の力で国政に代表を送り、看護の環境を変えていきましょう。



新支部長紹介



郡山第3支部 支部長
遠藤利子
(太田西ノ内病院)

郡山第3支部長に任命された遠藤です。当支部は太田西ノ内病院看護師のみで構成され前任者の努力の結果815名、100%の入会率となっております。

「たかがい恵美子さん」を国会に送り出す激戦の年責任ある立場となり「どうにかしなきゃ」という使命感でいっぱいです。今までではいけない! 看護師の厳しい労働と直向な看護の働きに適った報酬や労働条件を得る為にも「たかがいさん」を応援します。

全ての医療者・県民が看護師が頑張っているんだから「応援しよう」と言って頂けるよう働きかけます。メールの増員の他、看護職員一人が二人以上確実な人を得て根拠ある数値で示したいと考えます。特に若い世代に代表を国会に送り出す意味が伝わる様努力致します。



郡山第9支部 支部長
横田由美子
(保科病院)

郡山第9支部長として活動して早くも3ヶ月が経ちました。第9支部は、7つの施設と49名の会員がおります。まだまだ不慣れにて、各施設の会員の方々に御迷惑をおかけしているのが現状です。

「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに、私達看護職の現場の生の声を国政へ届けなければなりません。この職場環境が少しでも良い方向へ向かう為に、そしてやりがいのある仕事としてまた、未来の看護職を目指す人達への希望が持てる力になる事が出来ればと思います。その為には、代表者の方を国政へ送り出し、この生の声を反映させなければなりません。まず会員一人一人の意識を高め、一人でも多くの会員になって頂く為の活動を、笹原会長をはじめ役員の皆様の御指導と会員の皆様の御協力を頂き团结力を持って、活動をしていきたいと思っております。微力ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。



相馬支部 支部長
大沼美子
(鹿島厚生病院)

「看護師は何故60年も同じ問題を抱えているのか、救急救命士が何故、たった1年でその資格を確立できたのかわかりますか」アナウンサーの黒岩さんの講演を聞いた後、私は連盟に再度加入しました。看護師の離職率が高い理由を現場の生の声として国会へ届けて頂きたい。患者さんがもっと安心して入院生活を送るためにも、今の現状を改善しなければならないと思います。その為に私たちにできる事は、来年の選挙に向けて1票1票を確実に増やしていく事だけです。支部の病院の方々や地域の住民の方々に積極的にたかがいさんの事をお伝えし、票を確保できるように頑張ります。



双葉支部 支部長
賀村恭子
(双葉厚生病院)

拝啓 盛夏の候、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。さて私こと、このたび福島県看護連盟双葉支部の支部長を務めさせて頂くことになりました。不慣れではありますが、多くの方々に助けられなんとかやっています。

これからの活動としては、医療の現場で働く私たちの声を、しっかりと国会に届けてくれる代表を送り出すことです。組織力を強化し、一人一人が連盟活動の重要性を認識する必要があります。しかし、看護と政治の結びつきに対しては、必ずしも十分理解されていないと感じることがあります。「看護の心をみんなの心に」を忘れずに、自分の意思で行動できることを切に願い、微力ではありますが、皆様と共に頑張っていきたいと思います。

平成21年度 福島県看護連盟通常総会報告

期日 平成21年6月12日(金)

会場 郡山ビューホテルアネックス

特別講演 I

テーマ 「看護の未来に光を!」

—やりがい、生きがい、看護職—

講師 日本看護連盟幹事長 石田昌宏先生



日本の歴史から看護の歴史を興味深くお話をしていただいた。これから看護をベースにした社会を創っていく必要があり、看護師としての誇り・プライドを持って、活動していくなければならないと話された。自分たちの働く環境を変えるために、もっと政治・制度に関心を持って活動していく必要性を感じた。

特別講演 II

テーマ 「笑いが組織・環境を変える」

講師 プレジャー企画代表取締役 大棟耕介(クラウンK)



幹事長 本内敦子

平成21年度福島県看護連盟通常総会が、去る6月12日に郡山ビューホテルアネックスで開催されました。役員・一般会員合わせて287名が出席しました。来賓として環境副大臣・自民党県連会長の吉野正芳様と日本看護連盟幹事長の石田昌宏様にご挨拶をいただきました。また、福島県看護協会西山郁子会長からは、「第22回参議院選挙には、必ず看護の組織代表を国政に送らなければなりません。職能団体の目標は一つであり、看護協会と看護連盟の連携を強くしていきましょう。」と心強いご挨拶をいただきました。

平成21年度の活動は日本看護連盟の方針の下に第22回参議院選挙に向けた活動です。たかがい恵美子候補予定者の後援会として「たかがい恵美子と未来を創る会」が発足しました。日本看護連盟の清水嘉与子会長が後援会会长であり、福島県は看護協会と看護連盟の会長が後援会副会长となります。たかがい恵美子さんの知名度を高めることや看護連盟組織の理解を得るために施設訪問や基礎研修を実施します。また、青年部委員会の活動として、ポリナビワークショップが企画されています。これらの活動計画が全て承認され、積極的な活動がスタートいたします。



第22回 参議院議員選挙候補予定者

たかがい 恵美子さんの紹介

平成21年度日本看護連盟通常総会において、第22回参議院議員候補予定者にたかがい恵美子さんが決定しました。たかがい恵美子さんは、昨年日本看護協会常任理事に就任し、訪問看護・介護保険・医療保険などにご活躍されました。平成21年度の介護報酬改定においては日本訪問看護振興財団、日本訪問看護事業協会とコンタクトをとりながら、わずか1年間で介護報酬の一部改定に大変なご尽力をいただきました。「居宅療養管理指導」や「重度の褥瘡に対するサービス」、「長時間の加算」、「ターミナル加算」の算定方法が変わりました。

このようにたかがい恵美子さんは、看護の現状を把握し、問題解決する判断力、実行力をお持ちです。たかがい恵美子さんの著書「ナインゲール・スピリットで行こう。」ではこれまでの生き方や看護に対する深い思い、そして看護の未来に対する強い意志を読み取ることができます。

たかがい恵美子さんは、急性期医療、地域保健、研究教育そして厚生労働省の看護技官など豊富な経験を活かして、看護職の未来を創るために走り続けています。看護職は社会保障を担うプロの職能団体です。職能団体として、たかがい恵美子さんを国政の場に送り、私たちも共にやりがい、いきがいのある未来を創っていきましょう。

やりがいを、いきがいを、確かに感じながら暮らせる成熟社会をめざして
さあ、未来への一歩をふみだそう!



やるがい、
いきがい。
たかがい!

たかがい恵美子の基本姿勢

“生活者を一番に尊重すること”
実感できる政治を実行するために

“つねにオープンに問い合わせること”
透明性の高い政策づくりのために

“困難に立ち向かう勇気を持つこと”
冷静かつ大胆に前進するために

混沌とした社会の中で、
未来への不安を感じる日々。
こんな時代には、ちょっと先を照らしてくれる確かな灯りを求めています。
私はそんな「**確かな灯り**」
になりたいと考えています。

※たかがい恵美子と未来を創る会パンフレットより抜粋

たかがい恵美子さんは下記の日程で福島県を訪問します。

訪問予定日	訪問地区等	訪問予定日	訪問地区等
平成21年 9月18日(金)	県 北	平成22年 3月21日(日)	青年部
平成21年10月30日(金)	県 南	平成22年 3月22日(月)	いわき
平成21年10月31日(土)	会 津	平成22年 4月28日(水)	県 中
平成21年11月 1日(日)	会 津	平成22年 4月29日(木)	県 北

ホップ開催報告

「たかがい恵美子と未来を創る会」—福島県看護の集い—

期 日 平成21年7月24日(金) 10:00~16:00

参 加 ○午前 89名 ○午後 95名

会 場 ホテルプリシード郡山



若手会員に
たかがいさん
への感想を
聞きました



お会いした第一印象は

- たかがいさんの様な女性になりたい。
- 第一印象は「美人」「宝塚!!」でした。
- 堅苦しくなく好印象。
- すごくパワフル

- 看護への自信と政治への興味が持てた。
- 不満ばかりの仕事は、まず法律が変わらないとどうにもならないという事を実感した。
- 現場の声をよく分かっている。
- 看護師の待遇を変えてくれるのではないかと思った。

お話をきいた感想は

- 私の力は小さいですが、他の人の力を集めて大きなものにして応援したい。
- こういう女性が現状を変えてくれるなら、自分も微力ながら協力して行こうと思った。看護の現場を知って、現状を変えてほしい。

応援のことば期待する事